

## 優秀な人材を獲得するため、企業が力を入れるべきポイントとは？

日本は人口減少、少子高齢化により、企業の先行きが不安視されています。

☒ **人手不足による企業の倒産数が4年連続で過去最多を更新**

☒ **2030年には人口の1/3を高齢者が占め、労働人口は4割減（予測）**

人手不足は倒産リスクを高める深刻な問題の一つであり、今から人材の獲得に注力しなければなりません。

ところが、近年は学生が優位な「売り手市場」が続いたため、就職希望が集中する大手企業と、人材不足が続く中小企業との二極化が進む傾向にありました。そのため秋・冬採用まで行っている中小企業も少なくありません。

しかし、コロナ禍によって新卒採用の予定数を減らす大手企業が増えているため、中小企業にとって採用のチャンスではないでしょうか。

では、学生はどのような企業に魅力を感じているのでしょうか。ある調査会社によって行われたアンケートでは、「企業の働き方で魅力的に感じる制度」について、上位に「研修制度の充実」、「残業が少ない」、「フレックスタイム制の導入」がランクインしました。（対象：2022年卒予定の大学生）

近年はワークライフバランスを重視する傾向にありましたが、コロナ禍により、入社後のサポートや研修の充実を望む学生が増えていると考えられます。

しかし、コロナ禍で新入社員研修の実施方法や、内容を決められずにいる企業は少なくありません。ところが、この先送りが後に大問題となり得ます。学生からの質疑に答えられず、「この企業は新入社員のサポートに力を入れてないんだ、応募はやめておこう」、「内定を辞退しよう」となりかねないからです。

優秀な人材を獲得するためには、学生が魅力を感じる研修制度を構築し、アピールすることが、より必須となってきています。

弊社では、教育体系の構築や研修計画の立案からお手伝いすることも可能です。

是非、ご興味・ご質問のある方は、下記からご連絡下さい。

> お問い合わせはこちら